

「ニューノーマル時代のフードビジネス研究 ～コロナ禍下のライフスタイルの変化とインスタント食品産業」 研究プロジェクト報告

1. 目的・活動内容

新型コロナウイルス感染症（Corona Virus Disease 2019 ; COVID-19）の世界的な流行によって、企業活動、人々の働き方に大きな変化が起きている。リモートワーク、巣籠りといった用語がはやる中で、「食」を含むライフスタイルにもさまざまな影響が及んでいる。「食」の問題は、各人が日々関わっているものである。昨年（2020年）のCOVID-19感染による生活の変化を経験した誰もが（実務家、教員だけでなく、学生も）自分の経験に引きつけて主体的に取り組める分野であり、消費者の観点から新しい製品・サービスを創造することのできる分野であるともいえる。本研究では、サンヨー食品株式会社と共同で、以下の3つを柱にして、ニューノーマル時代のフードビジネスの将来的な展望を考察する。この共同研究の成果を経済学部教育に還元することはもちろんとして、研究の過程において学生を参加させることを目指している。

- (1) インスタント食品の誕生から世界食品化への歴史的・文化的コンテクストについての検証
- (2) インスタント食品メーカーの中国・東南アジア・アフリカ等への市場開拓についてのグローバル化の観点からの検証
- (3) インスタント食品メーカーの経営戦略や経営体制に関する内在的な検証

表 2021年度「ニューノーマル時代のフードビジネス研究」研究会一覧

No.	項目	内容
1	開催日	2021年11月16日（火）10時00分～11時30分
	タイトル	第1報告：リモート工場見学
	講師（所属）	第1報告：阿部 浩二（サンヨー食品（株）執行役員開発本部開発部長） 山田 健祥（サンヨー食品（株）執行役員マーケティング本部マーケティング部長）
	参加人数	12名
2	開催日	2022年3月11日（金）18時00分～20時00分
	タイトル	第1報告：赤レンガセッション SDGs達成に向けて食品ロスの解決策を考える ～食品業界の事例を中心に～
	講師（所属）	第1報告：窪田 光介（サンヨー食品販売（株）執行役員広域営業部長） 阿部 浩二（サンヨー食品（株）執行役員開発本部開発部長） 山田 健祥（サンヨー食品（株）執行役員マーケティング本部マーケティング部長）
	参加人数	39名

■第1回 研究会

開催日：2021年11月16日（火）10時00分～11時30分

会場：サンヨー食品株式会社 赤坂ビル

第1報告：リモート工場見学

報告者：阿部 浩二（サンヨー食品（株）執行役員開発本部開発部長）

山田 健祥（サンヨー食品（株）執行役員マーケティング本部マーケティング部長）

概要：まず袋麺製造工程とカップ麺製造工程について概要が説明された。次に赤坂会場と関西工場をオンラインで接続して、生産現場の実況中継が行われた。次いで本学からの事前質問に対してのサンヨー食品側の回答が説明された。以上の報告に対して、参加者全員で議論し、意見交換した。

■第2回 研究会

開催日：2022年3月11日（金）18時00分～20時00分

会場：立教大学 池袋キャンパス 12号館第1+2+3 共同研究室、オンライン

第1報告：赤レンガセッション SDGs達成に向けて食品ロスの解決策を考える

報告者：窪田 光介（サンヨー食品販売（株）執行役員広域営業部長）

阿部 浩二（サンヨー食品（株）執行役員開発本部開発部長）

山田 健祥（サンヨー食品（株）執行役員マーケティング本部マーケティング部長）

概要：まずSDGsの達成に向けた食品ロスの問題が説明された。そこでは、サンヨー食品をはじめとしたフード業界の取り組みが紹介された。次に6つのグループに分かれて、“MOTTAINAI”をキーワードにしたグループワークが行われた。各グループの発表において、インスタントラーメンを巡る経験・意見が明らかにされ、講師から補足説明が行われた。そこでは日常の食品ロスを自分ごととして捉えることの重要性が指摘された。

担当：内野 一樹（本学経済学部教授）